

分科会名	第2分科会「子どもの発達に関する課題」
研究主題	児童生徒の豊かな人間性の育成 ～地域との連携を深める取組を通して～
提言者	所属：鳥栖基山地区教頭会 学校名：鳥栖市立鳥栖中学校 氏名：中山 孝史
紙 面 協 議 の ま と め	<p>【発表内容についての所感】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携については、各学校で様々な内容に取り組んでいる。それらの取組を参考に、更なる連携強化を目指して取組を行っていく必要がある。 ・コミュニティ・スクールに移行しようとしている学校にとっては、どこから手をつければよいのか分からない部分がある。本研究は、コミュニティ・スクールとはどういうものなのか、教頭としてどのように働きかけていけばよいのか等のモデルとなる。 ・地域との連携について、教頭としてのかかわりは、学校規模や地域の状況、これまでの経緯等により様々であるが、教頭が地域に直接働きかけたり、職員に伝達したりする点で、学校と地域をつなぐパイプ役となる役目を果たしている。 ・地域との連携が進むにつれて、教育的効果や職員の負担軽減等の成果が見られるが、教頭等、地域との連絡調整をする者の負担が増えているようである。働き方改革の視点からも、一部の職員に負担が集中しないようにする必要がある。 ・この研究を通して目指すべきは、児童生徒の豊かな人間性の育成である。その際、どの程度達成できているのか、また、地域との連携がどの程度有効であったのかという成果の見取りの面では課題が残った。具体的な児童生徒の行動目標を設定しておくことや、地域連携の有効性の検証方法等、成果の見取りについては研究の余地がある。 ・この研究を進めるにあたり、地区の教頭が集まり情報交換・協議をすることが大変有意義であった。普段から密に情報交換をし、児童生徒の豊かな人間性の育成につながるより良い地域連携の在り方、また、それを進めていく教頭のかかわりについて考えていくことが大変重要であると感じた。
研 究 部 長 よ り	<p>鳥栖基山地区の小中学校は、地域との連携を深める取組を通して児童生徒の豊かな人間性を育成しようとしている。</p> <p>現在2中学校区がコミュニティ・スクールとなり、今後、地区内の全中学校区に広がっていく予定である。特にコミュニティ・スクールの立ち上げについては、先進校と情報を交換しながら、円滑な移行と児童生徒の豊かな人間性の育成を目指して準備を進めなくてはならない。社会に開かれた教育課程の理念のもと、地域との連携が深まり、児童生徒の豊かな人間性の育成につながるよう、教頭としてのかかわりを明らかにし、研究を深化させていく必要がある。</p> <p style="text-align: right;">(鳥栖市立鳥栖北小学校 富永 和重)</p>